



■ 山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～インフォメーション～



【第 27-10 号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ

最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

産学官連携コーディネータ

活動レポート（コラム）

【No.20】

皆様には、いつも山梨大学新技術情報クラブを応援して下さいまして、誠にありがとうございます。お盆も過ぎましてやや過ぎしやすい日もありますが、まだまだ暑い日が続いておりますのでご自愛ください。

さて、現在の新技術情報クラブが昔の「株式会社山梨ティーエルオー」での会員クラブを継承していることは皆様ご存知かと思いますが、経産省のまぐろみでは大学保有の特許を技術移転して産業の振興を進めようという趣旨でしたので、当初目的では「山梨大学が保有の技術をお使いいただき、特に特許出願した技術にご関心を頂きたい」という形でした。もちろん現状もこの主旨は継承されておりますが、より山梨を中心とした地域の企業様でご活用しやすい様に、特許出願された技術にこだわらない研究者保有の新技術も含めて紹介させて頂くようになってきております。

沢際ながら、特許登録が済んでいるかどうかは別としましても、特許出願は研究者の活動を見える形にしたものの一形態ですので、今後も積極にご案内していく所存です。

そこで、このような目的を遂行するためには「どのように開示していくか」ということが重要と考えております。現在、本学のホームページTOPから

社会連携・研究支援機構のページにリンクしておりますところ、新技術情報クラブ関連も含めて開示不十分であります点を問題視して新しい構成を作成中です。年末をめどに試行が出来るように進めておりますので、この中でなるべく多くの情報を開示できるように努めてまいります。また、本来は会員限定ページで特別な情報をご提供すべきところもございますが、出願直後情報はメールマガジンにて新鮮な時点でのご報告をしておりますことから、ご関心を持たれた技術につきましては個別・随時でもご説明申し上げますので、お気軽にお声掛けいただきたく願います。

一方で毎年企業様を訪問させて頂いたりする中で、会員企業様での技術課題（生産技術系は大学で難しいことが多いのですが）に対応すべくヒアリングを重視するようになってきております。従いまして、別に案内がありましたとおり、本年度も会員様を訪問させていただきまして、普段お忙しく大学等会場へ出かけられない方々も含めた意見交換の場を企画できたらと思っております。もちろんメールや電話などで軽く意見交換もできるかと存じますが、より広い範囲でのサービスになればと考えております。

また、この8月からは「学術指導契約」という制度が使えるようになりました。

これは、研究・開発などの重たいレベルではないけれど、「少し研究者の知恵を借りたい」といった、研究者に負担が少ない範囲で協働する仕組みです。従来はでは研究者の性格等にも依存して無料では本気にならないケースもございましたが、少額であっても研究者にインセンティブが湧くと良い結果につながると拝察しております。

では、今後とも山梨大学のご支援をどうぞよろしく願います。

（文責 還田）



■01: 山梨大学研究者が会員企業様をご訪問します！

山梨大学の研究者が保有する技術などの知識・知見や情報を活用していただくため、本学研究者と共に皆様の会社を訪問させていただきたいと思っております。そのため、先日、訪問に関するアンケートをメール送信致しました。

訪問時は、技術相談のほか、出張講座のご相談、フリートークなどご希望のスタイルでまた複数の社員様にお集まりいただいて実施戴ければと思います。

また、本学では、今後地域貢献の範疇で社会科学連携も目指しておりまして、技術のご相談以外でも文科系研究も視野に入れておりまして、可能な限りお伺いする方針です。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、訪問日調整や研究者選定を進めさせていただくため、アンケートにご記入いただき返信願います。

訪問時期は、9月-2月と広く考えており、回答期限は設けませんが、早めのご回答を戴ければ、日程調整もし易くなるかと思っております。

※ 個人会員様におかれましては、
ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。

(担当：産学連携コーディネータ 最上修平)



■ 大学情報・技術シーズが紹介されています!!

梨大倶楽部

http://www4.yamanashi.ac.jp/modules/nashidai_club/index.php

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便！

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>

↓↓↓↓↓↓↓↓

この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、
面談設定も可能ですので是非ご一報ください。



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学
社会連携・研究支援機構
社会連携・知財管理センター
新技術情報クラブ事務局

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。